

2008年2月1日

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

1月31日の当社ファンドの基準価額変動について

1月31日、「チャイナ・リアル・ウォッチ」、「チャイナ・ディスカバリー・ファンド(愛称：神龍)」の基準価額が大きく変動致しましたので以下でご報告いたします。

1. ファンド名および基準価額(1月31日現在)

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	騰落率(%)
チャイナ・リアル・ウォッチ	16,386	-1,020	-5.86%
チャイナ・ディスカバリー・ファンド (愛称：神龍)	11,795	-720	-5.75%

2. 主要株価指数の騰落率<現地株価は1月29日と30日の比較。円ベース騰落率は東京時間TTMベース>

関連主要株価指数	騰落率(%) (香港ドルベース)	騰落率(%) (円ベース)
香港ハンセン指数	-2.63%	-3.12%
ハンセン中国企業株指数(H株)	-4.66%	-5.15%
ハンセン中国レッドチップ指数	-2.89%	-3.39%

3. 香港株式市場下落要因ならびに今後の見通し

香港株式市場は、米国の二度の利下げにもかかわらず軟調であった先週の米国株式市場に連動し、米国の緊急景気対策への失望感を受けて売りが膨らみました。更に、最近の中国株式相場下落が中国人寿保険と中国平安保険のリターン(投資収益)に影響を及ぼすとの懸念が広がったことや、フランスのBNPパリバが中国金融セクターの投資判断を「アンダーウエート」に引き下げたこと、米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)が、サブプライム(信用力が低い個人向け)住宅ローン関連の金融機関の損失が世界全体で2650億米ドル(約28兆3000億円)を上回る可能性があるとの見方を示したことが嫌気され、中国建設銀行をはじめ本土銀行株が売られました。香港ハンセン指数・H株指

\*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。\*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補充書面を含む。)をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。\*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。

数・レッドチップ指数は大きく下落しました。

金融機関がどれだけの評価損を計上しなくてはならないかに関して不透明感があり、世界的に株式市場は不安定で、投資家の信頼を回復するにはまだ時間を必要とするかもしれません。米国経済がリセッション入りを避け、ソフトランディングできるかどうかは、短期の株式市場動向にとってキーポイントです。しかしながら中国のマクロ経済の成長に対するポジティブな見方は今でも変わりません。当局の継続的な金融引締の影響もあり、各産業が国内需要を背景に過熱感なく成長を続けると見ています。

以上

\*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。\*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。\*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。